

## 目標達成計画

事業所名: グループホームこころ

作成日: 平成24年8月7日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	馴れ合いによる言葉遣いの勘違いや乱れ、配慮に欠けた言動など、人格を損ねかねない言葉を見聞きした場合は相互に警告し合い、早期に芽を摘み改善に向ける必要がある。	定期的に自らの言動を振り返り、初心に戻る機会を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修に参加し知識を深め、研鑽の機会を持つ。</li> <li>会議に於いても自己の言動を見直す機会として内部研修を実施する。</li> <li>職員同士で見ても見ぬ振りの風潮は廃止する。</li> <li>管理者は日常の動向に目を向けていく。</li> </ul>	1年
2	37	本人の思いを自由に表現できる環境ではあるが、職員の気付きが先走って、本人の意思が後付けになることがある。本人が考えたり自己決定することの大切さを知り、働きかけをしていく必要がある。	時間をかけ分かり易い助言により、自己決定の場面が増える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に本人が自分で考えたり、決定できるよう意図的に、個々に分かり易く働きかける。</li> <li>意味のない行動と思えても本人なりの思いがある事等心理面も理解し対応にあたる。</li> <li>職員は勝手な決めつけをせず、時間がかかったり、多少の間違いも、調整をしながら自己決定に繋げる。</li> </ul>	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。